

日高高校の活性化・特色化方針

(令和3年度～)

1 学校基本情報

課程	全日制	学科	普通科、情報コース	生徒数	(男)177 (女)257	計	434				
ホームページ	https://hidaka-h.spec.ed.jp/										
アクセス	JR川越線 武蔵高萩駅下車 北口(あさひ口)から徒歩9分										
教育課程等の特徴	<p>【普通科】1年生は30人学級(3クラスを4展開)の少人数学級編制。将来の進路希望に合わせて基礎を重視しつつ発展学習にも取り組む。3年次17科目から4科目を選択し、自分の進路に合わせた学習が可能。</p> <p>【情報コース】普通科目の他に「情報処理」「簿記」などの専門科目を勉強する。検定受験により資格取得を目指して進学や就職に繋げる。</p> <p>【共通】基礎を重視しながら発展学習へつなげるわかりやすい授業。朝学習や放課後等の補習で基礎力向上、タブレットを使った学習でレベルアップ。</p>										
活躍が顕著な部活動	<ul style="list-style-type: none"> かるた部は平成27年度全国高校総合文化祭、令和元年度関東大会に出場するなど県内外の大会で活躍 軽音楽部は平成28年度スニーカーエイジ関東大会グランプリ大会に出場 										
特色ある学校行事	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行で民泊体験(2年生) ・アドベンチャー教育・救急救命講習(1年生) 約20kmの完歩をめざす強歩大会(全学年) ・クラス対抗の体育祭(全学年) 										
家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 保護者面談(年1回)、PTA理事会(年5回)、PTAだよりによる広報(年3回) 日高市行事等へのボランティア参加 ・地元小学生を対象とした夏休み公開講座 地元中学校 及び 埼玉女子短大との連携 ・高萩北小の登下校見守り活動 日高高校だよりの発行(年6回) 										
進路	状況	四大	9人	短大	4人	専門	46人	就職	77人	その他	3人
	傾向	<ul style="list-style-type: none"> 高校時代に取得した資格を活かして目標の四年制大学に進学する生徒が増加 県内の企業を中心に学校推薦による就職率は100% 									

(生徒数：R2.5.1現在、進路はR2.3月卒業生の実績値)

2 入学者選抜情報

< 本校が求める生徒 >

- ・高校生活に意欲的に取り組み、学習・部活動・学校行事・資格取得などにチャレンジする生徒
- ・規律を守り、努力を怠らない生徒

< [詳しい入学者選抜基準はこちら](#) >

(「埼玉県公立高等学校入学者選抜における各高等学校の選抜基準」が別ウインドウで開きます)



『英知 信頼 努力』

県立日高高等学校

～生徒の成長物語～



日高市マスコットキャラクター
くりっかー くりっぴー
日高市唯一の高校

本校の 特色

基礎から発展学習に繋げるきめ細やかな学習指導
ルールやマナーを守れる人づくり
充実した環境「全館冷暖房完備」「芝生グラウンド」「2つのコンピュータ室」「スクールカウンセラー」「最寄り駅から徒歩9分」

進路実現を図る一人一人を大切にした支援体制

体験活動やボランティア活動などを通じた豊かな心の育成

きめ細やかな学習・進路指導

1年生普通科で30人学級編制
少人数授業展開
朝学習、考査前や長期休業での補習
学習サポーターによる補習体制
タブレット等を使った学習体制
キャリア教育講演会
徹底した面接指導と相談体制
進路ガイダンスと進路先見学会 等

体験活動・社会貢献活動

全学年：通学路清掃 等
1年生：アドベンチャー教育
救急救命講習 等
有志：小学校登下校見守り
地域行事の手伝い等



3年生

日高高校生から社会人へポジションチェンジ

個に応じた進路指導と3年間の学習成果により、進学・就職希望を実現します。
自信と誇りを持ち、自律した社会人として社会に貢献できる人物へ成長します。

学校行事

修学旅行は民泊をはじめとした体験活動にも取り組みます。
強歩大会は秋の奥武蔵で約20kmを完歩します。
文化祭では部活動やクラスなどが日頃の成果を披露します。



修学旅行



文化祭

2年生

日高高校生として社会へ貢献、アクションチェンジ

学校行事、部活動、社会貢献活動などを通じて、一人一人が主役になり、学校の中心として活躍します。
進路(進学先・就職先)見学会や進路ガイダンスを通じて、目的意識と職業観を高めます。

情報コースの特長

本校には「普通科」と「普通科情報コース」が設置されています。情報コースの特長は以下のとおりです。

3年間で商業系の授業を22単位学習します。
2つのコンピュータ室にて、最新機器を使った授業を行います。
「情報処理」「電卓」「ビジネス文書」「簿記」などの検定を受検し、進学や就職に結びつけます。1級を取得する生徒も多くなります。

本校の3年後の目標

育成する人物像

自信と誇りを持つ人物
基礎学力と基本的な生活習慣を身に付けた、社会に貢献できる人物

目標

進学希望者実現率100%
就職希望者実現率100%
平成28・29・30年度
学校斡旋就職内定率100%達成

部活動

運動系部活動10、文化系部活動9

各部活動とも一致団結し、それぞれ熱心に活動しています
部活動を通じて社会性と協調性を養い、体と心を鍛えます



サッカー部・芝生グラウンド

1年生

中学生から日高高校生へマインドチェンジ

少人数学級編制と基礎を重視した丁寧な学習指導により、高校生としての学習リズム・生活リズムを確立します。
アドベンチャー教育や救急救命講習会をはじめとする多様な体験活動により、豊かな心を育みます。

日高高校は生徒一人一人をとことん面倒見ます

1 学校基本情報

種別	肢体不自由	学部・ 学科	小学部・中学部 高等部普通科・訪問教育部	児童 生徒数	(男) 71 (女) 63	計 134
ホームページ	http://www.hidaka-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	西武新宿線狭山市駅より智光山公園行きバス25分、智光山公園バス停下車徒歩5分					
教育課程等 の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の実態に応じた4つの教育課程がある。 類型：小学校、中学校、高等学校の当該学年の指導内容、指導目標に準ずる教育課程 類型：授業の遅れ、学習進度を考慮した、下学年対応の教育課程 類型：知的障害の特別支援学校の学習を参考にした教育課程 類型：自立活動の目標、指導の手だてが主となる教育課程 ・学年や学部の進級に従って類型ごとの学習が継続されよう、同じ類型の教育課程に携わる教員で構成する類型会を運営している。類型会ではそれぞれの学部における学習内容について共通理解を図り、系統を持たせた学習が展開されるよう取り組んでいる。 ・自立活動は、豊かな生活の実現を目指した学びの場であるため、教師との良好な関係性を土台としながら、健康の保持、心理的な安定、環境（重力・空気・寒暖・食べ物・人など）とのやりとりなどに取り組んでいる。 					
特色ある 学校行事や 部活動	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体験学習・校外宿泊学習・修学旅行等の校外行事を通して、公共交通機関や施設を利用し、車椅子で活動する社会経験を積み重ねている。 ・産業現場等における実習は高等部第2・3学年、中学部第3学年を対象に実施、進路講演会では卒業生の体験談などを聴き、卒業後の進路や生活設計を考える学習をしている。 ・積極的に防災教育に取り組み、年間を通じて防災かわせみタイム、避難訓練、ショート訓練を実施し、「自分の身を守る」防災意識を身に付けている。 ・部活動は中・高等部生徒が参加し、運動部・音楽部・美術部があり、年間15日程度、水曜日15:00～15:35に実施している。 ・特体連大会、障害者スポーツ大会（陸上、ローリングバレー・ボッチャ等）の参加に向けた練習を行っている。 					
家庭・地域 との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・交流及び共同学習：高萩小学校、坂戸ろう学園、人間向陽高校、日高高校 聖学院大学、駿河台大学 ・小中学校における支援籍学習の実施：7市26校 31名 ・地域連携：日高市社会福祉協議会、高萩公民館、障害者就業・生活支援センター等 ・防災体験プログラムの実施：地域住民・PTAと共同実施のイベント 					
進路に ついて	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護事業所を利用するケースが多いが、企業就労、在宅就労、就労系事業所など多岐に渡っている。 ・高等部進路先は、就労移行支援事業所、就労継続支援B型、生活介護、施設入所。 ・小学部・中学部の児童生徒は、大多数が本校中学部・高等部へ進学し、一部県外国立大学附属の特別支援学校高等部へ進学した。 					



本校の特色

本校の教育方針
教育内容の特色
地域との連携

児童生徒の希望、保護者の願いを大切に、「将来像」の実現に向けた教育活動を展開し、一人一人の可能性を伸ばしていく
実態に応じた教育課程、防災教育の推進、文化的活動・生涯スポーツの推進
市内小学校、異なる障害種の特別支援学校、県立高校、大学、地域のサークル活動との交流及び共同学習
地域・保護者と連携した防災体験プログラムの実施

学校教育目標

いのち輝く
ゆたかに学ぶ
ともにも未来を

児童生徒の生活目標

明るく(明朗さ)
正しく(公平さ)
たくましく(力強さ)

目指す学校像

「児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、保護者や地域から信頼される学校」

人と関わり 仲間と共に活動

小・中学部 支援籍学習 (令和元年度実績)

- ・学期1回程度、年3回
- ・小学部25名、中学部6名
- ・7市26校で実施

文化的・体育的活動

- ・ひだか祭
- ・校内作品展
- ・音楽鑑賞会
- ・お話会(日高市図書館)
- ・体育祭、スポレク集会

食農育学習

- ・野菜の栽培・収穫
- ・調理学習

中・高等部 部活動

- ・年15回水曜日に活動
- ・運動部、音楽部、美術部

中・高等部の 各種挑戦

検定・コンテスト

障害者スポーツ大会

- ・漢字、英語、パソコン検定
- ・写真、ポスター、絵の出版
- ・俳句、標語、人権メッセージの応募
- ・陸上・サッカー・バスケットボール・ローリングバレーボール・ポッチャ大会への参加

小学部 教育目標

- ・生活のリズムを整え、健康に学校生活を送る力を持つ児童の育成
- ・体験を通して、周囲の環境に興味関心を持つ児童の育成
- ・教員や友達とのやり取りを通し、人との関わりを楽しめる児童の育成

中学部 教育目標

- ・基本的な生活習慣を定着させ、健康的な生活を送る生徒の育成
- ・興味関心を広げ、主体的に学ぶ生徒の育成
- ・社会の一員としての自覚を持ち、自他を尊重し、協力し合う生徒の育成
- ・人間関係を広げ、自分の気持ちを積極的に、より明確に伝えようとする生徒の育成

高等部 教育目標

- ・【いのち・健康】基本的な生活習慣を身につけ、健康な体作りにも励む生徒の育成
- ・【自己理解・他者理解=対人関係】自分の役割を果たし、みんなと協力できる生徒の育成
- ・【自立・進路】将来の社会生活に必要な知識や技能を学び、進路についても自ら考え、取り組める生徒の育成
- ・【青年らしい豊かな学習・文化】基礎的な学力を身につけ、生活に生かせる生徒の育成
- ・様々な文化に親しみ、生活を豊かにできる生徒の育成

訪問教育部

- ・健康・安全に配慮し、日常生活に必要な基本的な力の育成
- ・人との関わりの中で自分の感情や意思を表出できる力の育成
- ・興味・関心を広げ、豊かに生活する力の育成

健康・生活を支える専門スタッフ

- ・養護教諭・看護教員
- ・特別支援教育コーディネーター
- ・自立活動コーディネーター

将来の自立に向けた体験

社会体験学習

- ・小学部 買い物・生活体験学習
工場見学
- ・中学部 買い物・外食・伝統工芸・電車利用体験
- ・高等部 調べ学習・買い物学習
外食・余暇・IT機器体験
公共施設見学
公共交通機関利用

校外宿泊学習・修学旅行

- ・1泊2日、2泊3日の宿泊体験
- ・校外宿泊学習
小5、中2、高1
- ・修学旅行
小6：ディズニーリゾート
中3：横浜ベイエリア
高2：ディズニーリゾート

自己理解から 始める進路指導

社会生活に向けての学習

- ・高等部校内実習 年2回8日程度
- ・就職支援アドバイザーによる実習指導
- ・事業所利用者との合同作業学習
- ・コミュニケーションスキル学習
- ・卒業生講話
- ・キャリア学習ノートの活用

中3から始まる現場実習

- ・中3 2学期に1~2日体験
進路への意識付け
- ・高2・3 3~5日年2回程度
企業就労、福祉就労実習後、進路決定